

レファレンス だより

2012年10月号
No. 119

福岡市総合図書館
図書サービス課 相談係
☎092-852-0632



レファレンス・サービスとは、情報を求めて来られた利用者に対して、図書館の資料等を活用して、必要としている情報を探すお手伝いをするサービスのことで、法律相談や物品鑑定などといったお答えできない質問もあります。また、質問によっては回答に日数がかかるもの、資料や情報が提供できない場合もありますのでご了承ください。

■レファレンス受付件数（2012年7月分）

参考	人文	社会	自然	郷土
89	1719	372	343	411
国際	国連	こども	ポピュラー	合計
452	72	1313	1085	5856

（開館日 24日 一日平均 244件）



今月のレファレンス徹底解説！

Q：マイクロ水力発電・小水力発電について、新しい資料が見たい。

■事典

『電力エネルギーまるごと！時事用語辞典 2011』（日本電気協会新聞部 2011年）2階 E3 R540.36/テ
マイクロ水力発電とは、大型の水力発電に対して出力100kW以下の発電。単位設備能力は小さいが、国内には河川のみならず農業用水、下水処理水、工場排水など発電潜在能力を持つ地点は多い。発電コストは大規模施設に比べて割高なため、NEDO（独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）による助成制度があると書かれている。

■一般資料

『小水力発電がわかる本』（全国小水力利用推進協議会／編 オーム社 2012年）2階 E14 543.3/シ
「概要を知る」「資源としての水」「小水力発電所の構成」「導入のための知識」「維持管理のための知識」の構成で、付録に参考文献・小水力に関わる連絡先・索引あり。地域に結びついた小発電として、各地で関心を持ってもらいたいという想いでまとめられている。Q&A方式でわかりやすい。

『小水力発電：21世紀のクリーンな発電として』（逸見次郎／著 パワー社 2007年）2階 E14 543.3/I
小水力発電は、中・小河川や農業用水路、工場排水などの流水を利用して水車を回し、その力で発電機を回転させて電気を作る。小規模な水力発電は発電出力の規模によって、小水力発電1000～1万KW（キロワット）、ミニ水力発電100～1000KW、マイクロ水力発電100KW以下と分類される。

■雑誌記事

『City & life 2012年 summer No.104』（第一住宅建設協会）2階 MII 6
栃木県那須塩原市の農業用水路を使った「小水力発電」の取り組みが紹介されている。

『水の文化第39号 2011年11月』（ミツカングループ本社広報室内）2階 MII 6

小水力発電を推進するにはどうしたらよいかについて「小水力の底力」という特集が組まれている。

『季刊 地域 No.7 AUTUMN 2011』（農産漁村文化協会）1階 雑誌 82A

「いまこそ農村力発電」という特集で、農家や集落の事例が報告されている。「小水力発電ミニ知識」の中に、申請手続き・新エネルギーを促進する法律の概要がまとめられている。

『土木技術 2011年6月号』（土木技術社）2階 MII 6

「マイクロ水力発電の研究開発動向」（稲垣守人・渡邊諭／著）の論文あり。

■インターネット

『人間社会環境研究 第21号 2011.3』（金沢大学）

【<http://dSPACE.lib.kanazawa-u.ac.jp/dSPACE/bitstream/2297/29496/1/AA12162559-21-69-82.pdf>】

「農業用水を利用した小水力発電を取り巻く法律・制度の現状と課題」（水林義博・前田隆／著）

『全国小水力利用推進協議会ホームページ』

【<http://j-water.jp/conference/>】

参考資料の中に「小水力発電事例集」参考文献の紹介あり。また、サイト内の小水力発電データベースで、全国の小水力発電所の検索（登録は244件あり）もできる。





その他にもこんな質問がありました

Q：ラジオ体操の始まりを知りたい。

■百科事典

『日本大百科全書 23 (2版)』(小学館 1994年) 2階 C1 R031/ニ

1928(昭和3)年、簡易保険局長がアメリカにおいてラジオで体操が放送されていることを知り、日本放送協会(NHK)の放送によって実施することを企画した。「ラジオ体操」は俗称であり、正しくは「国民保健体操」という。占領期間中は一時中止されたが、その後再開されたとある。

■スポーツ関連

『最新スポーツ大事典』(岸野 雄三/編 大修館書店 1987年) 2階 C13 R780.33/サ

最初の担当アナウンサーは軍の楽隊から抜擢された江木理一。彼は10年間にわたり、1日も休まず放送を続け、その元気な掛け声から広く国民に支持され、人気を博した。1931(昭和6)年には「ラジオ体操の会」が発足し、夏休みの8月1日から20日までをラジオ体操実施期間とし、参加者にカードを配り皆勤賞をめざすという試みが始まる。日本が参考にしたアメリカの体操は、生命保険会社の宣伝として始まったものであり、その目的は健康の増進と死亡率を下げ、保健会社の利益をあげようということにあったとある。

『いつでもどこでもだれでもラジオ体操75年の歩み』

(ラジオ体操七五周年記念誌編集委員会/編 簡易保険加入者協会 2004年) 2階 B19 781.4/イ
ラジオ体操について詳しくまとめた1冊。歴史がよくわかる。体操の図解、楽譜、年表付き。口絵には宣伝ポスターや出席カード等が時代ごとにカラー写真で紹介されている。

Q：「はかまだれやすすけ」という人物について調べたい。

■事典

『日本史大事典 5』(平凡社 1993年) 2階 C10 R210.03/ニ

「袴垂(はかまだれ)」の項目に、平安時代中期の説話上の大盗賊であるが、実在したかは明確でなく、後世、藤原保昌(やすまさ)の弟・保輔(やすすけ)と同一人物とする見方が生じたとある。

『平安時代史事典 本編下』(角川書店 1994年) 2階 C10 R210.36/ハ

同じく「袴垂(はかまだれ)」の項目に説明があり、二つの事典とも「今昔物語集」「宇治拾遺物語」の説話を紹介している。

■説話集

『新日本古典文学大系 36・37 今昔物語集』(岩波書店 1994・1996年) 2階 B22 918/シ

巻第25第7話に、盗賊の袴垂が路上で藤原保昌を襲ったが、逆に諭されて衣服を与えられた話、巻第29第19話には、袴垂が死人のふりで油断させて近寄る人を襲い、衣服や武器を奪って多くの手下を率いるようになった話が見える。

『新日本古典文学大系 42 宇治拾遺物語』(岩波書店 1990年) 2階 B22 918/シ

第125話に、保輔が商人を家に呼び入れては殺したり、盗みを働いたりした話が見える。

『新日本古典文学大系 41 続古事談』(岩波書店 2005年) 2階 B22 918/シ

巻第5第45話に、盗みに入った保輔が捕えられて自害し、葬られるまでの経緯が語られている。

■関連書

『異形の伝説』(志村有弘/著 国書刊行会 1989年) 閉架資料 910.2/シ

説話や史料に基づいて、袴垂と保輔との関連を論じた章がある。保昌が、盗賊袴垂に獄死した弟保輔の面影を重ね、優しい行為をとったことが、袴垂と保輔が同一人物と見られる原因になったとしている。

『日本の歴史 5 王朝の貴族』(中央公論社 1978年) 閉架資料 210.08/ニ

「盗賊・乱闘・疫病」の章の中で、袴垂保輔の伝説をとりあげている。

『吉川英治全集 第45巻 袴だれ保輔』(講談社 1970年) 2階 B24 918.68/イ

袴垂保輔を主人公とする小説。この人物が他にもいくつかの文学作品の題材となったことは、『異形の伝説』の中でも触れられている。

Q：福岡市に観光で来た人の数はわかるか。

■統計

『九州観光ビジネス産業データ・ブック 2010年版』（九州産業研究所 2010年）

2階 C3 R689.21/キ/ビジ叔2

H16～20年の福岡市の入込観光客の実態と推移あり。福岡市の観光・レジャー市場の特徴について、①ショッピング、飲食、スポーツ観戦、コンサートなどが主体で、九州のほかの都市とは異なっていること、②「どんたく」「山笠」など伝統ある祭りイベントがあること、③アジアからの観光入込客の玄関口となっていること（H20年は不況により減少）があげられている。

『全国観光動向 平成21年<度>』（日本観光振興協会／編集 2011年）2階 C3 R689.05/キ/ビジ叔2

平成17～21年の福岡市への観光入込客データあり。総数だけでなく、日帰り・宿泊別、県内・県外別の入込客数と消費額もあり、平成21年度の消費額は3,030億円となっている。

『数字でみる観光 2011-2012年度版』（日本観光振興協会／編 創成社 2012年）2階 C3 R689/ス/ビジ叔2

平成17～21年の政令指定都市別観光地入込客統計に福岡市も記載あり。

■インターネット

福岡市ホームページ【<http://www.city.fukuoka.lg.jp/>】サイト内検索>観光統計

福岡市集客企画課による福岡市の観光統計（平成22年-平成24年1月公表）に入込観光客数（推計値）が交通機関別、日帰り・宿泊別に掲載あり。平成20年は1,660万人、平成21年は1,614万人、平成22年は1,642万人とここ数年横ばい。平成23年の震災の影響については、次回以降の集計となる。

Q：親の収入と子どもの学力・進学に関する資料はないか。

■教育関連

『日本の教育格差』（橋本 俊詔／著 岩波書店 2010年）1階 66 372.1/キ

家計所得と進学・就職の関係を示したデータあり。大学進学に関しては、家庭の年収差が四年制大学への進学率に大きく影響していることがわかる。

『教育と格差 なぜ人はブランド校を目指すのか』

（橋本 俊詔・八木 匡／著 日本評論社 2009年）1階 66 371.3/キ

学校ランクおよび進学決定要因の分析によると、子どもの頃に経済的に裕福であったことは、高いレベルの高校に入学することにプラスの効果を持っているものの、父親の学歴効果や職業効果などよりも弱い効果しかないことなどが示されている。

『教育の経済分析』（小塩 隆士／著 日本評論社 2002年）2階 D17 371.3/キ

親が裕福で高学歴であり、社会的にも地位が高ければ、子どもは学校でもよい成績をあげることができ、したがって、将来、高い社会的地位につく可能性も高くなるとある。

■生計費関連

『日本の家計行動のダイナミズム 3』（慶應義塾大学出版会 2007年）2階 D15 365.4/キ

世帯収入階層別に見た子供の就学・就業状態の表によると、高所得層で大学・短大在学割合が高く、低所得層で子供が就業する割合が高くなっていることがわかる。

『教育・健康と貧困のダイナミズム』

（樋口 美雄・宮内 環／編 慶應義塾大学出版会 2011年）2階 D15 365.4/キ

家庭背景と学力の関係—多変量回帰分析の結果—の表によると、家計収入が100万円上昇すると、国語・数学に対しては、標準スコアで0.2から0.4のプラスの影響があることがわかる。

■新聞

朝日新聞記事データベース「聞蔵」で検索すると、以下のような記事が見つかる。

2010年9月12日朝刊24面 「親の経済力、学力左右 高偏差値校ほど低い授業料免除率」

2009年12月20日朝刊30面 「塾・習い事出費、3倍の差 年収400万円と800万円世帯」

2009年5月11日朝刊24面 「学費理由にした進学断念増える」

※ 棚番号は総合図書館のもので、本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



国際資料、再発見②！！

中国で活躍する80後(バーリンホウ)の作家たちの作品、所蔵しています。

中国で80後(中国語簡体字:80后 ba ling hou)世代の作家たちが活躍しています。

「80後とは1980年代に生まれた人たちで、それ以前に生まれた人たちとの歴然とした差が社会の関心を呼んでいる。「80後」世代のその世代の多くは一人っ子で、目上の人を自分を中心に回っているのに慣れたため、常に自分が中心であることを要求する傾向がある。また、贅沢な生活にも慣れていて、物を大事にしないとといった欠点もある。大学を卒業し、社会に出た「80後」世代は転職も多く、協力の意識や団結の精神に欠け、人間関係の構築や精神的受容力にも乏しいといった特徴が指摘されている。一方で行動力に優れ、チャレンジ精神が旺盛と評価される点もある」(『新語・流行語から中国の「今」を見る』から抜粋)

「80後」を代表する作家といわれているのが、^{ハンハン}韓寒(1982～)と^{グオジンミン}郭敬明(1983～)。彼らは作家の他にカーレーサー、タレント、雑誌編集者など多才な活動を繰り広げ、ベストセラーを量産しています。また、若者たちのオピニオンリーダーとして、その言動やライフスタイルも注目されています。

☆韓寒の作品(出版年順)所蔵場所：A17、A18

『像少年啦飞驰』『三重門 増訂版』(邦題『上海ビート』1階ポピュラー所蔵)『一座城池』
『光荣日 第一季』『杂的文』『他的国』『可爱的洪水猛兽』『1988：我想和这个世界谈谈』

☆郭敬明の作品(出版年順)所蔵場所：A17

『幻城』『梦里花落知多少』『左手倒影右手年华』『無極』『悲伤逆流成河』(邦題『悲しみは逆流して河になる』1階ポピュラー所蔵)『小时代 1.0 折纸时代』『小时代 2.0 虚铜时代』『临界・爵迹 1』
『临界・爵迹 2』『小时代 3.0 刺金时代』

☆上記以外に当館に所蔵する80後世代作家たち

^{ディーアン}笛安(1983～)、^{ジャンユエラン}張悦然(1982～)、^{シアミンヨウ}夏茗悠(1988～)、^{チージンニエン}七堇年(1986～)、^{グーマン}顧漫(1981～)など。

※著者名のカタカナ表記は「中国語音節表記ガイドライン(メディア用)平凡社版」による



全館統一テーマ展示を行います！

図書館では1年に1度、福岡市総合図書館・各分館で、同じテーマでの本の展示をしています。今までは、「団塊の世代」「アジアマンス」「国民読書年」「I♥福岡」をテーマに展示を行いました。今年のテーマは、「図書館のススメ」です。各館でサブテーマを設定し、図書館員のおすすめ本やベストセラーの展示、図書館のマナーについてといった図書館をより楽しんでいただけるような展示を行っています。

各館で行われている展示は、図書館内に掲示しているポスターや総合図書館ホームページで確認いただけます。この機会に市内の各図書館に足を運んでみませんか？

